NEWS LETTER

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

2026 年 11 月 27 日

全国 43 エリア代表が集結！高校生“スポーツごみ拾い日本一”が決定
「スポ GOMI 甲子園 2026」全国大会を開催

～全 43 チームの頂点とセブン-イレブン賞が決定！～



株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋）は、未来世代との共創として、地域・環境に関する活動を支援する目的で、高校生がごみを拾い、その種類と量を競い合う大会**「スポ GOMI 甲子園」に協賛しています。**

11 月 22 日（日）に全国大会が東京都江東区にて開催されました。高校生 3 人 1 組のチームがごみ拾いの成果を競い合い、日本一を決めるこの大会には、全国各地の予選大会を勝ち抜いた代表 43 チームが参加しました。競技の末、優勝チームや第 7 位のチームに贈られる「セブン-イレブン賞」が決定しました。

セブン-イレブンは、副賞として 1 位から 7 位までの各チームに、セブンカフェ風フタ付きタンブラー、ななチキポーチを贈呈しました。セブン-イレブンは、今後も地域におけるさまざまな社会貢献活動を推進してまいります。

＜表彰結果＞優勝は新潟県代表「みんな眠い」

「スポ GOMI 甲子園 2026」全国大会は、大会初出場となる新潟県立巻高等学校の「みんな眠い」が優勝し、高校生“スポーツごみ拾い日本一”に輝きました。総重量 21.14kg を記録し、さまざまな種類のごみをまんべんなく収集し、なかでもペットボトルを多く集め、初優勝を果たしました。



＜優勝：新潟県代表「みんな眠い」＞

優勝チーム：新潟県代表「みんな眠い」コメント

「保育園や小学校の頃からずっと一緒に過ごしてきた仲間で、今でもつながりの深い 3 人です。全国大会では、ペットボトルや缶などを効率よく集めるだけでなく、3 人で一丸となって、草むらの中にも手を入れながらごみを探しました。最初は優勝できると思っていなかったので、実際に優勝することができて、とても嬉しいです。」



＜2 位：福岡県代表「東バスターズ」＞



＜3 位：富山県代表「山田ブラザーズ」＞

<セブン-イレブン賞>7 位は兵庫県代表「よろしく市川です」



<7 位：兵庫県代表「よろしく市川です」>

賞品としてセブンカフェ風フタ付きタンブラー、ななチキポーチが贈呈されました。

当日の様子

開会式では、全国各地の予選を勝ち抜いた 43 チームの選手たちが一堂に会し、全国大会への意気込みを新たにしました。競技では、青海・お台場エリアを舞台に、選手たちが仲間と作戦を立て、制限時間 60 分の中でごみ拾いに挑みました。各チームに帯同したルールガイドが安全面を見守るなか、選手たちは声を掛け合いながら、全力で臨む姿が見られました。



<作戦会議の様子>



<競技開始の様子>





<チームで協力してごみ拾い>





＜この日回収されたごみ：227.79 kg＞

「スポ GOMI 甲子園 2026 全国大会」大会概要

実　　施：2026 年 11 月 22 日（日）
　　東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場の周辺エリア
内　　容：高校生 3 名 1 組のチームで、制限時間 60 分で定められたエリア内のごみを拾い、その種類と量をポイント化して競い合います。
　　2026 年 6 月～11 月にかけて全国 43 エリアで開催された「スポ GOMI 甲子園エリア大会」を勝ち抜いた 43 チームによる決勝大会
参加人数：43 チーム 128 人 ※1 名欠席
参加エリア：北海道／青森／秋田／岩手／山形／宮城／福島／群馬／茨城／千葉／東京／埼玉／神奈川／新潟／富山／長野／山梨／石川／静岡／愛知／岐阜／福井／滋賀／三重／京都／大阪／兵庫／鳥取／岡山／広島／島根／香川／愛媛／高知／山口／福岡／大分／佐賀／長崎／熊本／宮崎／鹿児島／沖縄

主催：一般財団法人日本財団スポ GOMI 連盟
助成：公益財団法人日本財団
協賛：富士工業株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン
スポ GOMI 甲子園オフィシャルサイト：https://zenkoku.spogomi.or.jp/

スポ GOMI 甲子園とは

全国 43 都道府県の高校生が「スポーツごみ拾い日本一」を競い合う大会です。2019 年よりスタートし、今年で 8 回目の開催です。日本中の高校生を対象に、海洋ごみ問題を自分事として捉え、自分たちができることを考えてもらうキッカケを作るために、ごみ拾いとスポーツを融合した高校生によるスポ GOMI 大会を企画しました。全国大会では、予選大会で勝ち上がった代表 43 チームが 1 日で 227.79 kgのごみを集めました。

学校で学ぶ SDGs や海洋ごみ問題は、自分たちとはあまり関係の無い問題だと思われがちです。高校生のうちにしか参加出来ないスポ GOMI 甲子園において、生徒たちが、次のアクションを起こす人材に育っていってくれることを目的としています。

セブン-イレブン担当者コメント

高校生の皆さんが競技を通じて地域のごみに向き合い、仲間と力を合わせて行動する姿から、一人ひとりの実践が環境を守る力になることを改めて感じました。持続可能な社会を実現するには、企業も地域の一員として、課題に向き合い続ける必要があると考えています。地域に深く関わる事業を営む企業として、セブン-イレブン・ジャパンは、今後もお客様、地域社会、お取引先の皆様と連携し、環境課題をはじめとする社会課題の解決に取り組んでまいります。